

全日本民主医療機関連合会 歯科部

発行日： 2025年 1月14日 発行人：岩下明夫

謹賀新年

みなさん、新年あけましておめでとうございます。今年も歯科衛生士委員会から歯科衛生士ニュースをお届けします。本年もよろしくお願いたします。

『民医連歯科衛生士の基本となるもの』の学習が進んでいます!!

宮城 古川民主病院歯科では11月に職員会議で学習会を開催し、12月は歯科衛生士部会で事例をもとにアセスメントシートを実際に記入してみました。1月には記入したアセスメントシートをもとに事例検討と今後の活用について議論する予定にしています。民医連歯科衛生士に求められる視点を再確認する機会となっています。



中国・四国地協 ではWEBで学習会を開催しました。民医連歯科衛生士の歴史と今後の活躍の場を検討していく一助として、患者さんを社会的にとらえ、生活背景からどのようにサポートしていけるか考えるツールとして、多職種と連携していくためのアセスメントとして活用するなど、様々な場面で普及していこうという学習会になりました。

石川 では多職種への周知・活用に向けて、まずは歯科職員で院内学習会を開催しました。1回目は10月に学習と感想交流を行い、2回目は11月に読み合わせを行いました。3回目は読み合わせと事例をもとにアセスメントシートの記入を予定しています。また1月には県連全職員集会で『民医連歯科衛生士の基本となるもの』活用と普及に向けてをテーマに演題発表を予定しています。『基本となるもの』の内容紹介と城北歯科での取り組みを報告し、多職種への周知の機会として準備をすすめています。

大阪 では歯科職員研修会で学習講演とSGDを行いました。「民医連歯科のあゆみが詳しく簡潔にまとまっていて理解しやすかった」「多職種との関わりを大切にしているチーム医療を実践しているのが一般歯科とは違う」などの感想があり、アセスメントシートの活用では、訪問診療の間診票や無低診の面談、多職種との連携会議で情報共有ツールなどの意見がありました。久しぶりのSGDでしたが、自分のことばで民医連を語り、民医連歯科衛生士の未来は明るいと感じた研修会となりました。



各地での取り組みは、ぜひ歯科部までお知らせください

min-shika@min-iren.gr.jp